

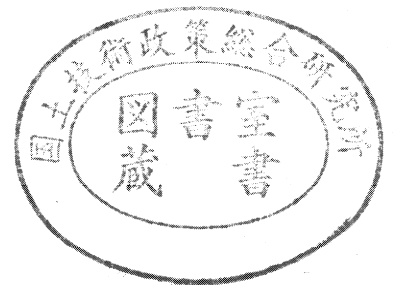
港 湾 技 研 資 料

TECHNICAL NOTE OF
THE PORT AND HARBOUR RESEARCH INSTITUTE
MINISTRY OF TRANSPORT, JAPAN

No. 809 Sept. 1995

海岸景観の記述表現からみた海岸の景観現象
と人の認識構造との関係

東 島 義 郎
小 林 享
竹 下 正 俊



運輸省港湾技術研究所

目 次

| | |
|---|----|
| 要 旨 | 3 |
| 1. はじめに | 3 |
| 2. 既存研究 | 3 |
| 3. 研究の方法 | 4 |
| 3.1 海岸景観の記述表現を分析する意味と位置づけ | 4 |
| 3.2 景観現象と記述表現の対応関係の把握（汀線の平面形状と記述表現との対応） | 5 |
| 4. 海岸景観の記述表現の分析 | 6 |
| 4.1 記述表現の抽出 | 6 |
| 4.2 記述表現の分析 | 6 |
| 4.3 考 察 | 14 |
| 5. 景観現象と記述表現の対応関係の分析（汀線の平面形状と記述表現との対応） | 19 |
| 5.1 汀線の平面形状の測定 | 19 |
| 5.2 景観現象と記述表現の対応関係の把握 | 19 |
| 6. おわりに | 20 |
| 参考文献 | 20 |

海岸景観の記述表現からみた海岸の景観現象 と人の認識構造との関係

東 島 義 郎*
小 林 享**
竹 下 正 俊***

要 旨

海岸景観は、汀線形状、海岸周辺の岬や島などの地形、松原などの植生といったさまざまな要素により構成されている。良好な海岸景観を創出・保全するためには、それらを人がどう認識しているのかという観点から、海岸の景観現象を十分把握しておく必要がある。

本研究では、その一端として、観光地を対象とした海岸景観の記述表現を分析し、海岸の景観現象と人の認識構造との関係の考察を通して、海岸景観の印象を規定する要因と、その認識上の組み立てを把握した。

分析の結果、海岸景観の印象を規定する要因を①汀線型、②植生型、③周辺地形型、④奇勝型、⑤その他、の5つのタイプに大別して整理することができた。これにより、海岸における景観の構成要素は、汀線およびその近辺の要素だけではなく、周辺の山や岬、背後の松原、岩礁なども重要な要素であることを明らかにすることができた。

また、それぞれの記述表現の分析より、所与の海岸景観に対して、直接的、暗示的、象徴的な表現上の仕分けを行ったり、他の言葉との同時使用による表現上の工夫などを行っている場合があることを確認できた。

本研究では、海岸景観の記述表現に着目して分析を行ったが、景観構造を明らかにするためには、景観現象との精緻な対応関係の分析も必要である。一部、汀線の平面形状との対応関係の分析を試みたが、今後、分析の方法も含めて検討を深めていく必要がある。

キーワード：海岸、景観構造、記述表現

1. はじめに

海岸景観は、汀線形状、海岸周辺の岬や島などの地形、松原などの植生といったさまざまな要素により構成されている。良好な海岸景観を創出・保全するためには、それらを人がどう認識しているのかという観点から、海岸の景観現象（景観研究の対象として観察されうるあらゆる事実を表現した言葉）を十分把握しておく必要がある。

本研究では、その一端として、観光地を対象とした海岸景観の記述表現を分析し、海岸の景観現象と人の認識構造（景観現象の知識化・知り得た事実の相互関係）との関係の考察を通して、海岸景観の印象を規定する要因

と、その認識上の組み立てを把握しようとするものである。

2. 既存研究

本研究に関連する既存の研究として、上島らは、港の景観構成要素を明らかにするため、一般の人々がイメージする「港らしさ」を反映していると考えられる「港のフォトコンテスト」の写真の分析を行った。その結果、船舶が最も重要な港の景観構成要素であることなどを明らかにした（図-1）¹⁾。

写真コンテストの応募作品は、景観現象のうち視覚的に印象深い瞬間の映像を捉えたものである。写真は、

* 前計画設計基準部 計画基準研究室（現 第五港湾建設局企画課補佐官）

** 計画設計基準部 主任研究官

*** 計画設計基準部 計画基準研究室長

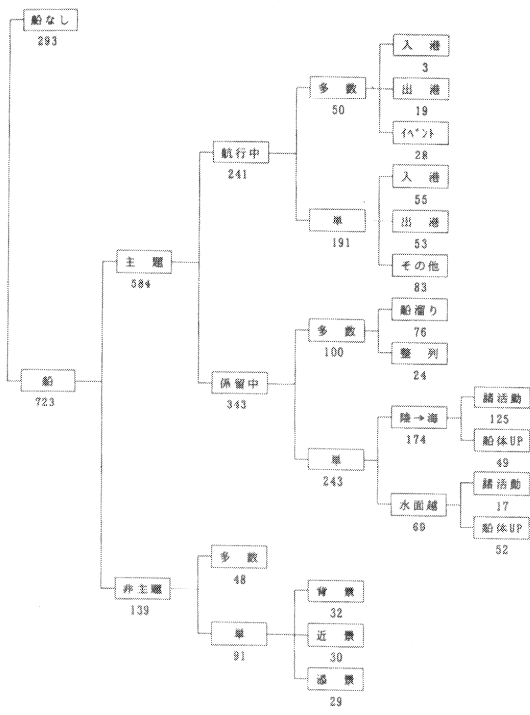


図-1 港らしさを象徴する要素-船舶の撮影上の扱われ方とフォトコンテストにおける実数

景観を構成する要素が具体的かつビジュアルに現れているため、定量化が容易である。しかしながら、与えられた景観の一場面を切り取っているため「限定された」という資料上の制約がある。また、時間の経過に伴う変化や、読後感のように全体を通して得られる印象などを表現しにくい。この点が記述表現と大きく異なる。

一方、後藤らは、日本人の海の原風景を探る基礎的な試みとして、「海之歌」の歌詞の分析を行った。その結果、「海」のイメージタイプは自然舞台「でっかい海」、港・人工舞台「海と船出」、人間心情舞台「海・ロマン」の3つにわけられ、さらに、時代によっても変容していることを明らかにした(図-2)²⁾。

| タイプ1. 自然舞台「でっかい海」 大自然はいつの時代も、どこ地域でも不変である。 『海』の大きさ、広さ、偉大さ。 | タイプ2. 港・人工舞台「海と船出」 海に臨む人工舞台、船乗り(人間)のなすドラマ。 ストーリー性ある『海』。 | タイプ3. 人間心情舞台「海・ロマン」 登場人物主体、『海』をバックに展開される人間感情。 舞台背景としての『海』。 |
|---|---|---|
| <p>(もの) (心情)</p> <p>舞台 空間 自然 夕夜、汽船、風</p> <p>目録・正 目録・正 ■ 汎用性 氏譜</p> <p>■ 出現時代特性・なし ・常に安定</p> <p>■ 出現地域特性 ・日本全域</p> | <p>もの 道具 船 舞台 (心情)</p> <p>舞台 時間 夜 空間 自然 灯 人間 人工 舟、灯</p> <p>目録・動機 (目録・修正)</p> <p>■ 汎用性 氏譜 歌謡曲</p> <p>■ 出現時代特性・「夜」「灯」減少 「船」「舟」「灯」安定(全盛'50)</p> <p>■ 出現地域特性・「船」-日本全域 「舟」-日本北陸、瀬戸 「夜」「灯」-函館、横浜、長崎</p> | <p>登場人物主体、『海』をバックに展開される人間感情。 舞台背景としての『海』。</p> <p>もの (心情) 海 立立、汽船</p> <p>人 ワタシ、一人、777</p> <p>明 恋・愛 夢・望</p> <p>(舞台)</p> <p>目録・動機 ■ 汎用性 777 歌謡曲</p> <p>■ 出現時代特性・近年増加 (「立・汽」-増減少)</p> <p>■ 出現地域特性 ・日本全域 ・「夢・望」-外国(戦後1950年代)</p> |

図-2 「海」のイメージタイプの特徴

海之歌の歌詞には、海のイメージが湧きやすいような言葉が盛り込まれる。それらの言葉は、具体的な景観現象を表現するというよりも、人々の海に対するイメージを増幅するために用いられるものである。したがって、抽象化され、象徴化された言葉及び表現であるため、具体性のある一般的な海岸景観の記述表現と異なっている。イメージ分析ならよいが、具体性のある景観を扱う上では、分析対象として詳細さにやや欠ける。

3. 研究の方法

本研究は、分析対象として観光地を対象とした海岸景観の記述表現を用いた点に特徴がある。この種の資料は、与えられた景観現象が持つ多くの情報のなかから、これらを認知・評価する際に必要とされる情報のみが掲載されている。したがって、景観現象に関わるさまざまな表現を分析することによって、人の認識構造を探る上で重要な点を抽出することが可能となる。

本研究では観光地を対象とした海岸景観の記述表現を用い、海岸景観をタイプ分けするとともに、各々の記述表現の分析から海岸景観の認識に際しての仕分けが、どのようになされているのかについて検討した。

本章では、分析の手順を3.1と3.2に分けて整理する。

3.1 海岸景観の記述表現を分析する意味と位置づけ

観光ガイドブックなどにおける海岸景観の記述表現は、執筆者が景観対象の持つ属性の中から印象に残った情報、あるいは読み手が必要とするであろう情報を適宜、取捨選択して表現したものである。図-3に海岸における景観現象と人間の認識および記述表現との間における関係を示す。

ある景観現象を表現するに際して人は、先ず当該対象を取り巻く地域固有の文脈(歴史・文化・社会・自然など)を考える。次にその文脈を下地として、与えられた景観現象を表現するにふさわしい記述内容を考え絞り込む。さらに、記述に際しては、自らの認識した内容をできる限り最良のかたちで伝えられるよう、修辭的工夫や統

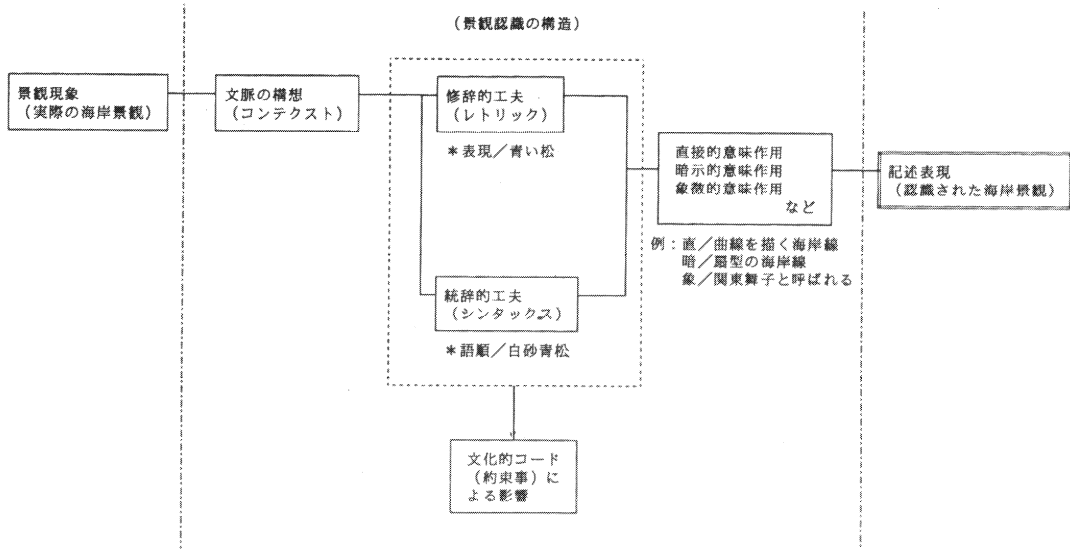


図-3 景観認識の構造フロー

辞的工夫を行う。この表現の過程は、表現者の所属する特定の社会集団が共通に持っている意味体系によって影響を受ける。

海岸景観の認識における、この構造を解明することは、海岸における景観現象の重要な要素が何であるのかを知る際の判断材料となり、また情報の操作性を検討する際の手がかりとなる。

(1) 記述表現の抽出

本研究では、観光地を対象とした海岸景観の記述表現を抽出する原資料としてJTBの新日本ガイドを用いた。本資料は全23巻で構成されており、有名観光地に片寄らず優れた観光資源が各市区町村単位で分類・表記されているところに特徴がある³⁾。なお、同資料は数多くの人々によって記述されており、人の認識構造を客観性を持たせて探るといって本研究の目的に適した分析対象である。

同資料に掲載のある海岸に関する記述(○○海岸, △△浜, □□海水浴場, ××浦など)を網羅的に抽出する。

(2) 記述表現の分析

記述に際して意識された海岸景観の構成要素の整理とその表現上の特徴について把握する。

3.2 景観現象と記述表現の対応関係の把握(汀線の平面形状と記述表現との対応)

3.1においては海岸景観の記述表現の分析について述べたが、このような分析のみでは、景観現象と記述表現の精緻な対応関係は得られない。景観現象と記述表現とのより具体的な対応関係が明らかになれば、海岸の景観構造(景観現象と人との間における空間的な位置関係、

視覚的な関係及び、どのような印象を持つかといった心理的關係などの総体)はさらに説明が容易になる。しかし、景観現象は定量化できるものとできないもの、また季節や時刻、天候によって変動するものとしえないもの、複数の要素の存在によって成り立つものと成り立たないものなど、さまざまな要因が絡み合っている。また、その分析手法も多岐にわたり、記述表現との対応関係を把握することは容易でない。

本研究では、そうした複雑な対応関係を探る手がかりとして、比較的定量化が容易な海岸汀線の平面形状を例に、地形図上測定できる形状と汀線に関する記述との対応関係について分析を試みた。

(1) 汀線の平面形状の測定

3.1抽出された海岸のうち円弧に近似できる海岸汀線について形状(曲率半径、汀線長、中心角)の計測を行う。計測は原則として国土地理院発行の1/25,000地形図を使用して行う。ただし、延長数十kmにおよぶような大延長の海岸については1/200,000地勢図などを使用する。図-4に測定例を示す。

(2) 景観現象と記述表現の対応関係の把握

(1)で測定した海岸のうち、汀線形状についての記述表現がある海岸とない海岸との間における汀線形状の分布の傾向を分析し、汀線の平面形状と汀線に関する記述表現との対応関係について考察する。

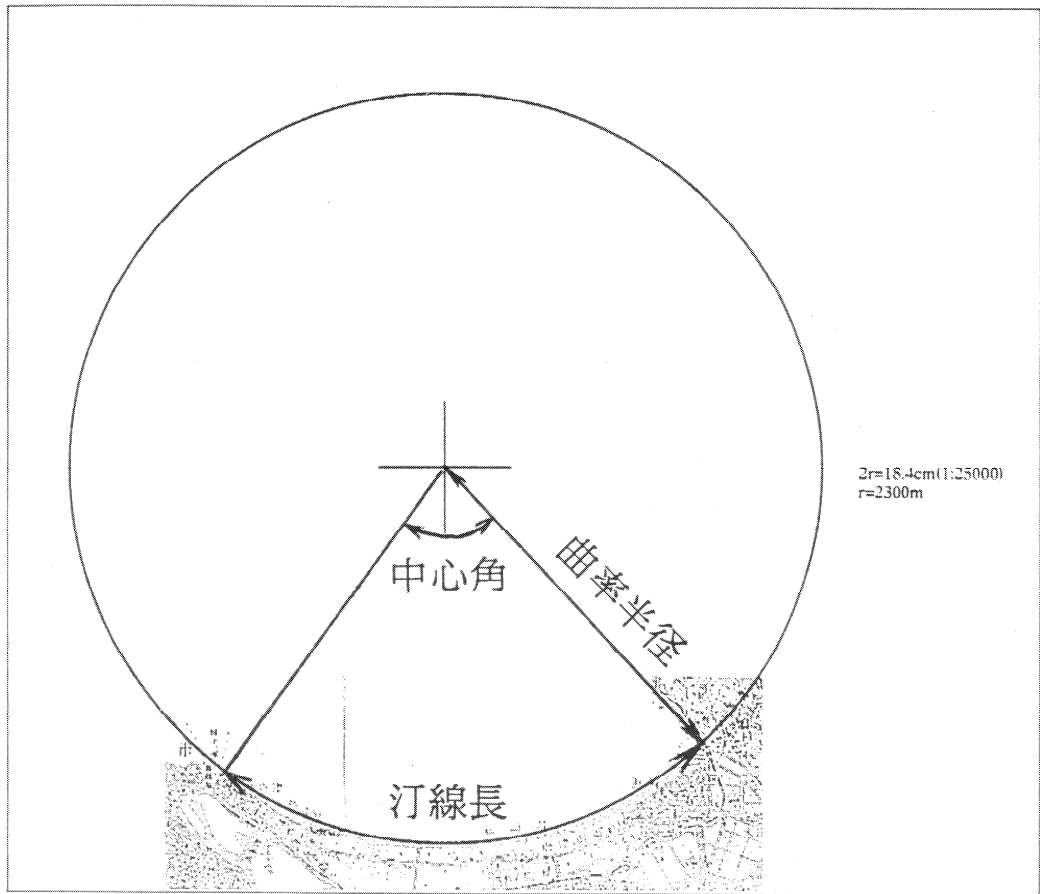


図-4 測定例（佐賀県唐津港：虹の松原）

4. 海岸景観の記述表現の分析

4.1 記述表現の抽出

JTBの新日本ガイドに掲載のある、海岸景観に関する記述を網羅的に抽出した。

その結果、全国から876の海岸事例を抽出することができた（表-1に事例の一部を示す）。

4.2 記述表現の分析

海岸景観の印象を規定する要因に着目しながら、4.1で抽出した記述表現を大づかみに分類すると、以下の5つのタイプに仕分けすることができた。

- ①汀線型／汀線形状や規模、海浜の状況について記述されている海岸（写真-1に一例を示す。以下同様。）
- ②植生型／海岸および海岸の周辺空間に存在する松原などの植生について記述されている海岸（写真-2）
- ③周辺地形型／海岸周辺における山、島、岬、川などの地形について記述されている海岸（写真-3）
- ④奇勝型／奇岩・絶壁・洞窟などの奇勝について記

述されている海岸（写真-4）

⑤その他／1～4に属さない景観現象について記述されている海岸（灯台、橋などの人工物や波、夕日などの自然現象など）（写真-5）

次に、それぞれのタイプ毎の記述表現の分析結果を示す。以下では、各タイプの特徴的な事項を中心に述べる。詳細は、各表を参照願いたい。

(1) 汀線型

汀線型では、汀線形状、海岸の規模、砂・石の色、砂・石の粒の大きさ、の大きく分けて4つの景観現象についての記述がなされている。以下に分析結果を示す。

a) 汀線形状についての記述（表-2）

形状的には、弧状（弧、弓など）、曲線（曲線、湾曲など）、入り組み（リアス式、入江など）、直線、砂州（砂州、砂嘴など）についての記述がある。

これらのうち弧状の海岸については、形状を「弓」、「扇」など何かになぞらえて表現（暗示の意味作用：記号論の言葉及び表現を援用、以下直接的意味作用・象徴

表-1 海岸事例一覧(一部)

| 海岸名 | 種別 | NO. | 住所 | 規模 | 解説 |
|---------------------------|----|-----|-----------------------|---------|---|
| 1 蘭島海水浴場〔らんしまかいすいよくじょう〕 | | 1 | 北海道小樽市蘭島 | 1巻 83頁 | 石狩湾に面して約1kmほど続く波静かな、遠浅の白浜の海岸。7月中旬から8月中旬のシーズンには1日数万人の海水浴客で賑わう北海道有数の海水浴場である。 |
| 2 増毛・雄冬海岸〔ましけ・おふゆかいがん〕 | | 2 | 北海道留萌市 | 1巻 235頁 | 増毛港から雄冬集落への間、約25kmの海岸線。荒波に刻まれた断崖絶壁、海鳥の乱舞するローソク岩、義経洞窟などの奇岩怪岩が連続している。この景観を眺めるには同区間の運行の定期船や海岸線沿いの国道を走るバスの車窓からがよく、いかにも秘境への旅といった感じがある。 |
| 3 稚内西海岸〔わかかないにしかいがん〕 | B | 3 | 北海道稚内市〔利尻礼文サロベツ国立公園内〕 | 1巻 370頁 | 坂ノ下から夕来にかけての約2.4kmにわたる地域。海岸は単調な曲線を描く最北の砂丘地帯、その内側はミズゴケ類からなる湿原である。そして海岸線に並行する道路の左右には、ハマナス・ヒオウギヤメ・エゾカンゾウなど100種を超える植物が群生し、6月から9月にかけていっせいに花をつける。 |
| 4 フレシマ海岸〔ふれしまいがん〕 | | 4 | 北海道根室市 | 1巻 300頁 | 根室半島の付け根のあたり、太平洋側に開ける。広い砂浜がつづき、沖合に小島を眺める景勝地。 |
| 5 有珠海水浴場〔うすかいすいよくじょう〕 | | 5 | 北海道伊達市 | 1巻 161頁 | 内浦湾に面した遠浅の海岸。民宿・キャンプ場もあり、道内屈指の海水浴場として賑わう。 |
| 6 岩部海岸〔いわべかいがん〕 | | 6 | 北海道松前郡福島町 | 1巻 136頁 | 矢越岬から岩部まで約6km、奇岩・断崖の美しい姿を津軽の海に映す松前矢越道立公園随一の景勝地である。海水浴・キャンプ・釣りの好適地として夏は賑わうが、国道からそれているため付近の風光も破壊されない自然の味わいがある。白神岬に近い松浦海岸もまた、変化に富んだ岩と砂浜の調和がみごとく眺望が得られる。民宿が福島に1軒ある。 |
| 7 松浦海岸〔まつうらかいがん〕 | | 7 | 北海道松前郡福島町 | 1巻 137頁 | 津軽海峡の荒波に浸食された荒々しい海岸美がつづく。磯釣りによい。松前矢越道立自然公園に指定。 |
| 8 折戸浜海岸〔おりとはまかがん〕 | | 8 | 北海道松前郡松前町 | 1巻 141頁 | 松前矢越道立自然公園内にあり、曲線に富む。夏期は海水浴場・キャンプ場として賑わう。 |
| 9 浦元・小谷石海岸〔わきもと・こたにしかいがん〕 | | 9 | 北海道上磯郡知内町 | 1巻 135頁 | 浦元港から小谷石にかけて約6km続く奇岩怪石の豪快な海岸線で、開拓道路の開通によってはじめて一般に知られたところ。高さ35mに及ぶ断崖絶壁、蛇ノ鼻、ナマコ岬、イカリ島など多くの奇勝に富んでいる。付近一帯は絶好の釣場で、キャンプ・海水浴に適している。民宿が浦元に2軒ある。 |
| 10 日浦海岸〔ひうらかいがん〕 | | 10 | 北海道亀田郡恵山町 | 1巻 122頁 | 戸井町の西はずれから日浦まで1km以上もつづく変化に富んだ海岸線。風波の浸食を受けた材木岩などの奇岩や大岩をくり抜いた10余りの洞門トンネルが断続し、日高の黄金道路に似た風景を展開している。柱状節理の断崖の日浦岬にある日浦灯台の下に立つと、その日の天候によって岩肌の色彩をかえるという恵山の眺望がすばらしい。 |
| 11 鏡子岬〔ちょうしみさき〕 | | 11 | 北海道亀田郡楸法華村 | 1巻 124頁 | 前面に太平洋が開け、南に恵山と恵山岬を望んで眺望がよい。鏡子海岸は海水浴と釣りの好適地。 |
| 12 木直海岸〔きなおしかいがん〕 | | 12 | 北海道茅部郡南茅部町 | 1巻 125頁 | 鏡子岬から木直に至る約9kmの海食崖の発達した岩石海岸。ところによっては100mを超える絶壁がつづく |
| 13 古部海岸〔ふるべかいがん〕 | | 13 | 北海道茅部郡南茅部町 | 1巻 126頁 | 木直海岸の東につき、断崖にへばりつくイワマツ、海へ落下する古部の滝など景観に富む。 |
| 14 出来間海岸〔できまかがん〕 | | 14 | 北海道茅部郡鹿部町 | 1巻 127頁 | 内浦湾に面して白砂の浜が約2kmも延びる。波が穏やかなため海水浴によい。また、磯釣りもできる。 |
| 15 三ツ谷海岸〔みつやかがん〕 | | 15 | 北海道爾志郡乙部町 | 1巻 110頁 | しびの岬の南にあり、延長約3km。うち800mの間は海水浴に好適。一帯で磯釣りができる。 |
| 16 関内海岸〔せきないかがん〕 | | 16 | 北海道爾志郡熊石町 | 1巻 110頁 | 遠浅の海岸が約500mも広がり、海水浴場として賑わう。脱衣所・水道・トイレ完備。釣りもできる。 |
| 17 長磯海岸〔ながいそかがん〕 | | 17 | 北海道久遠郡大成町 | 1巻 107頁 | 約1.5kmにわたって砂浜と岩場がつづく、海水浴と釣りにいい。松山道立自然公園内。 |
| 18 無縁島海岸〔むえんじまかがん〕 | | 18 | 北海道奥尻郡奥尻村 | 1巻 148頁 | 奇岩や断崖絶壁を配する西海岸の景観の中で、ボツンと浮かぶ無縁島を前にする美しい浜辺。海水浴や釣り・キャンプによく付近に奇岩やホヤ石やホヤ石の庵などのみどころもある。 |
| 19 観内海岸〔ほろないかがん〕 | | 19 | 北海道奥尻郡奥尻町 | 1巻 148頁 | 島の北西岸にあり、小高い山に湾曲した砂浜が延びる。温泉も湧き、海水浴やキャンプの適地。 |
| 20 神威臨海岸〔かむいわかきかがん〕 | | 20 | 北海道奥尻郡奥尻町 | 1巻 148頁 | 奥尻島の西岸にあり、屏風立岩などの奇岩が立つ。漁港の近くに温泉も湧き、磯釣り・キャンプもできる。 |
| 21 瀬棚海岸〔せたなかがん〕 | | 21 | 北海道瀬棚郡瀬棚町 | 1巻 104頁 | “主は瀬棚の三本杉よ……”と民謡にも歌われているように、鏡のような海面にそそり立つ高さ30mの名勝三本杉岩に象徴される道南八景の一つである。ほかに、ローソク岩、懸島、窓岩、獅子岩など多数の奇岩が点在し、美しい風景を作っている。 |
| 22 島歌海岸〔しまうたかがん〕 | | 22 | 北海道瀬棚郡瀬棚町 | 1巻 105頁 | 追分ソランライン沿い開ける。狩場茂津多道立自然公園内で、“窓岩”の奇岩がある。 |
| 23 太櫓海岸〔ふとろかがん〕 | | 23 | 北海道瀬棚郡北松山町 | 1巻 105頁 | 弁天岬・立岩・水垂岬・日屋岬など9kmにわたって奇岩怪礁の連なる美しい海浜がのびている。夏は海水浴場として賑わい、7月下旬、海開きが催され、春や秋にはアゴラコ、カレイが釣れる。 |
| 24 江ノ島海岸〔えのしまかがん〕 | | 24 | 北海道島牧郡島牧村 | 1巻 102頁 | 4kmの砂浜が続く、道内屈指の長丁曲浦をなしている。海水浴で賑わうほか、釣りの名所でもある。 |
| 25 雷電海岸〔らいでんかがん〕 | B | 25 | 北海道岩内郡岩内町敷島村 | 1巻 97頁 | 雷電山の山裾が日本海に没するあたり、すなわち岩内町の西南海岸一帯をいう。荒削りの男性的な海岸美と弁慶に関する史跡・伝説の地として名高く、かつては穴をくりぬいたり、鉄鎖や梯子をとりつけて荒波をくぐった北海三嶮の一つ。岩内港から刀掛岩まで延長13kmに及ぶ海岸線は、海水浴場、釣り場、キャンプ場、温泉があり、断崖絶壁に咲き乱れる高山植物がみごとくである。 |
| 26 盃温泉郷〔さかずきおんせんきょう〕 | | 26 | 北海道古宇郡泊村 | 1巻 98頁 | 樺丹半島の西海岸、おだやかな日本海のひろがりを目にした明るい雰囲気温泉。景勝弁天島を控えて国民宿舎が立ち、海水浴のほかキャンプ・釣りも楽しめる。7月採集土曜日にはニシンの群集にあやかった群衆まつりが催される。 |

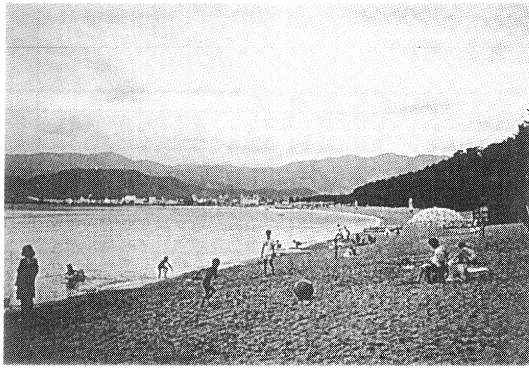


写真-1 汀線型

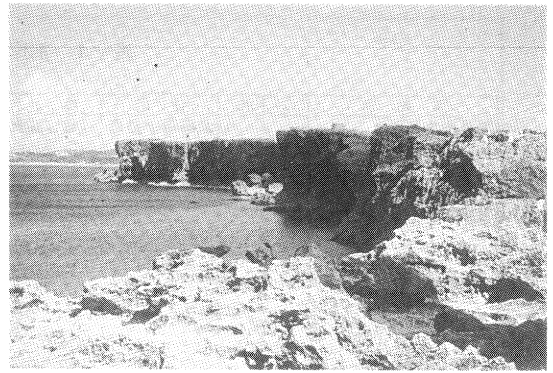


写真-4 奇勝型



写真-2 植生型

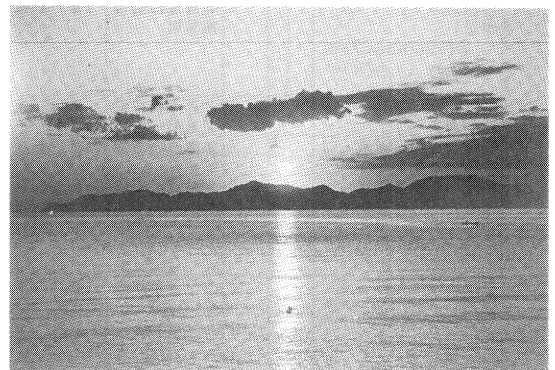


写真-5 その他

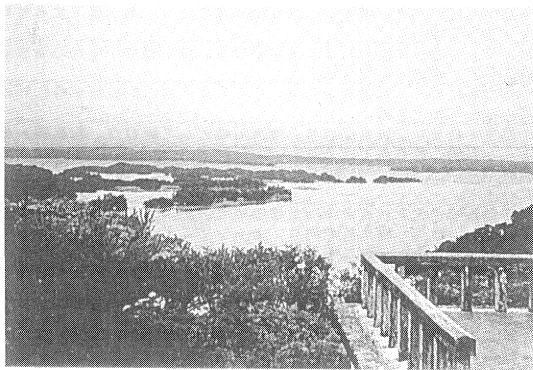


写真-3 周辺地形型

的意味作用も同じ)しているものが多く、また「美しい」「みごと」などの誉め言葉も同時に用いられやすい傾向にある。

弧状以外の海岸では、「屈曲」「直線」など形状を直截的に表現(直接的意味作用)するものや、「長汀曲浦」「リアス式」など象徴化された表現(象徴的意味作用)も多い。

b) 海岸の規模についての記述(表-3)

海岸の規模については、定量的な記述(延長〇〇m, 幅△△mなど)、定性的な記述(長い, 広い, 小さいなど)、他との比較による記述(〇〇最大, 日本三大砂丘, △△屈指など)の3通りの記述がある。何れも規模が大きいことを表現する場合が多いが、規模が小さいことを表現する場合もある。

c) 砂・石の色についての記述(表-4)

砂・石の色については、白, 五色, 黒, その他の記述があるが、ほとんどが「白砂」「白浜」などの白い砂についての記述である。この白には「明るい」「まぶしい」など光の条件を巧みにとらえた表現や、「松林(緑)」「海(青)」など白い浜と対比的な要素が同時に用いられることが多い。また、五色は小石や玉石など粒が大きな場合のみ用いられている。

d) 砂・石の粒の大きさについての記述(表-5)

砂・石の粒の大きさについては、砂, 石, 砂と石の複合の3通りの記述があった。さらに詳細な粒の大きさの記述は砂についてはあまりないが、石については小石, 砂利, 岩などの仕分けがある。

(2) 植生型

表-2 汀線の形状についての記述

| | |
|--|---|
| ●「弓」、「扇」、「三日月」、「弧」 | 弓形、弓なり、緩弓状、弓状に続く、扇を広げたようになだらかな曲線を描く、三日月形、弧状、ゆるやかな弧を描く |
| ▲誉め言葉 美しい（美しい弧を描く）、みごと（弓状の砂浜がみごと、弧状を描く白砂海岸はみごと）、珍しい（南紀では珍しい）、屈指（福岡県屈指の海岸美） ▲同時に用いられる要素 湾（湾に沿って1000m、湾沿いに弧を描く） | |
| ●「曲線」、「湾曲」など | 単調な曲線を描く、単調、緩い曲線、曲線に富む、ゆるやかなカーブを描く、女性的、なだらか、湾曲、ゆるやかに湾曲、弓形に湾曲 |
| ▲誉め言葉 海岸美（ゆるやかに湾曲する海岸美） ▲同時に用いられる要素 湾（湾に向かって緩い曲線を描いて広がる）、山（小高い山に湾曲した砂浜が延びる） | |
| ●「リアス式」、「入江」、「屈曲」など | 小さなリアス式海岸、典型的なリアス式海岸、複雑に変化する典型的な溺れ谷のリアス式海岸、深い入江、小さな入江、屈曲した入江、複雑な海岸線をみせる入江、屈曲が多い、屈曲、複雑でフィヨルドの感じさえ抱かせる、入り組む |
| ▲誉め言葉 美しい（リアス式の海岸線が美しい、屈曲に富んだ海岸美） ▲同時に用いられる要素 岬（岬や入江が連なるリアス式海岸）、島（入江と沖に浮かぶ島が変化に富んだ風景をみせる） | |
| ●「その他の曲線」 | 長汀曲浦、湾入、Y字型、つづら折り |
| ▲誉め言葉 名所（フィヨルドの感じさえ抱かせる）、屈指（道内屈指の長汀曲浦） | |
| ●「直線」 | 真直ぐに延びる、直線、ほぼ直線にのびる |
| ●「砂州」 | 砂州、細長く突き出た砂州、突出し湾を抱く砂嘴、砂嘴、出洲 |
| ▲誉め言葉 名所（淡路橋立と呼ばれる）、箱庭的风景（弓なりの浜と入り組んだ池の優美な曲線美） | |

植生についての記述では、松についての記述が非常に多いため、松についての記述とその他の草木についての記述の2つに分けて分析を行う。

a) 松についての記述（表-6）

松についての記述は、集合体としての松（松原、松林など）についての記述と、単体の松（岩間に生える松など）についての記述がある。

集合体としての松についての記述は、松原、松林といった直截的な表現（直接的意味作用）以外に、白砂青松という日本人の文化的コードにまでなっている言葉も多く用いられている（象徴的意味作用）。これらとともに、「白砂」、「白浜」などの意味的関連の深い要素が同時に用いられることが多い。

また、単体の松についての記述は、岩、断崖、岩礁な

表-3 海岸の規模についての記述

| | |
|--------|---|
| ●「定量的」 | 〇〇mも広がる、〇〇mも続く、〇〇mにわたる、延々〇〇mに及ぶ、幅〇〇m長さ〇〇mに及ぶ |
| ●「定性的」 | 長い（長い海岸線、長くゆるやかな弧を描く、限りなくつづく、延々とつづく、長汀曲浦、長く延びる）、長大（長大な砂浜）、広い（広い砂浜に恵まれた、砂浜はかなり広い、広々とした浜、白砂が広くつづく、ひろやかな砂丘、広大な砂浜、広漠とした浜、雄大な砂浜、浜が広がる）、大きい（大砂丘）、短い（短い浜）、小さい（小さな入江、小さい砂浜、小さなリアス式海岸、こじんまりとした浜、浜は小規模、砂浜はやや小さめ、砂浜の幅はあまりない、あまり広くない）、深い（深い入江、深く切れ込む） |
| | ▲誉め言葉 恵まれる（広い砂浜に恵まれた）、かなり（砂浜はかなり広い） |
| ●「比較」 | 〇〇最大の浜、その規模は日本一といわれている、日本三大砂丘、道内屈指の長汀曲浦 |

表-4 砂・石の色についての記述

| | |
|--------|---|
| ●「白」 | 白浜、白砂、白砂浜、白砂の浜、白い砂浜、真っ白い砂浜、白砂をまじえた砂浜、純白の砂浜、砂浜は白い、まぶしいほどに真白い、白一色の浜、明るい白砂の浜、白砂青松 |
| | ▲誉め言葉 美しい（白砂の美しい海水浴場、白砂青松の美しい海岸、白砂をまじえた美しい砂浜、県内有数の美しさ）、恵まれる（白砂に恵まれる）、豊か（白砂と松林が豊か）、まぶしい（まぶしいほどに真白い）、珍しい（五島列島では珍しい白砂）、明るい（明るい白砂の浜）、きれい（きれいな白い砂浜） |
| | ▲同時に用いられる要素 青松（白砂青松、白砂に青松の砂浜）、松林（松林と白砂に恵まれる、松林を背にした白い砂浜etc）、黒松（黒松が茂る白砂の浜）、松の緑（白砂と松の緑がはるかに連なる）、老松の並木（白砂の浜には老松の並木が続く）、松（松と白砂浜が続く）、老林（白砂と老林が美しい）、海（エメラルドグリーンの海に映える、奇岩と紺碧の海と相まってみごと） |
| ●「五色」 | 赤・青・黄などの色を帯びた小石が浜辺を彩る、赤・青・黄・白・黒など五彩の玉石を敷き詰めたような浜辺、五色の色彩を放つ砂礫の浜、五色玉砂の海岸 |
| | ▲誉め言葉 彩る、五彩、色彩を放つ |
| ●「黒」 | 黒い小石からなる浜、黒っぽい浜、黒い玉石が敷き詰められた海岸 |
| ●「その他」 | 銀砂浜 エメラルドグリーンのビーチ |

表-5 砂・石の粒の大きさについての記述

| | |
|-------|---|
| ●「砂」 | 砂浜、白砂浜、白砂、浜辺、砂丘、浜、細かい砂、砂州、砂嘴 |
| ●「石」 | 岩（岩が多い、岩石の海岸、岩浜）、砂利（佐渡では珍しい砂利浜、細かい砂利を主体とした浜、小砂利浜、玉砂利）、石（小石が浜辺を彩る、黒い小石からなる浜、小石浜、大小の石でできた海岸、五彩の玉石を敷き詰めたような浜辺）、磯（磯場が多い、磯）、砂礫、玉砂（五色玉砂の海岸） |
| ●「複合」 | 砂浜と磯、磯と浜（磯と浜とがあり変化に富む）、岩礁と砂浜（岩礁と砂浜が繰り返される）、小石まじりの砂浜、小石混じりの海岸、砂浜半分磯半分、砂浜と岩場、石砂浜、岩礁と玉石の浜 |

表-6 松についての記述

| | |
|--------------|---|
| ●「松原」、「松林」など | <p>松原（長大な松原、広がる松原）、松林（松林と白砂浜、海岸沿いに続く松の自然林、松林が広がる、道路に沿うまばらな松林、黒松林、赤松林、松の砂防林）、青松（白砂青松、青松の砂嘴、青松を背にする）、並木（松並木、老松の並木が連なる）、松が茂る（黒松が茂る白砂の浜、松が茂る島）、白砂と松の緑がはるかに連なる、赤松や黒松（およそ5万本の赤松や黒松の老木が茂る）、老松に背後をおおわれる</p> <p>▲誉め言葉 美しい（白砂青松の美しい浜、広い砂浜と松林が美しい）、彩る（砂浜を白波と松林が彩る、椿・赤松の古木が密生しっその彩を添える）、景勝地（白砂の浜と黒松林の景勝地、白砂青松がつづく景観に恵まれた海浜、白砂青松の汀がつづく風光明媚な海岸）、名所（東の大磯ともいわれる、関東舞子と呼ばれる）、よく茂る（黒松がよく茂っている、白砂と松林が豊か、豊かに茂る松並木、松林が豊富、黒松1万本が密生）、穏やか（白砂青松の穏やかな風景）、青々（青々とした松林）、壮観（数万本といわれるクロマツの大木が緑の枝を上げた様は壮観である）</p> <p>▲同時に用いられる要素 白砂（松林と白砂浜、黒松が茂る白砂の浜、白砂の浜には老松の並木がつづく）、砂丘（砂丘と松林がつづく）、砂浜（広い砂浜と松林が美しい、松林を背にした白い砂浜、浜の背後は長大な松原）、海（赤松の緑と海の色が調和している、海と松と岩肌のコントラスト）、岩（海と松と岩肌のコントラスト）、岩礁（松と岩礁とが調和）、断崖（断崖にへばりつくイワマツ）</p> |
| ●「松（単独）」 | <p>松（青い海に松の緑と岩肌のはっきりとしたコントラストをみせる、松と岩礁とが調和、岩間に生えるマツ、断崖にへばりつくイワマツ）</p> <p>▲誉め言葉 彩（岩間に生えるマツ・・・と四季折々の彩が人の目を楽ませる）</p> <p>▲同時に用いられる要素 海（海と松と岩肌のコントラスト）、岩（海と松と岩肌のコントラスト）、岩礁（松と岩礁とが調和）、断崖（断崖にへばりつくイワマツ）</p> |

表-7 その他(松以外)の草木についての記述

| |
|--|
| <p>●「杉林」、「モクマオウ」などの樹木</p> |
| <p>林(帯状に発達した原生林、天然林が美しい、御用邸の自然林を背負う、ミズナラ・ダケカンバの林、幅4kmの防風林、密林、杉林を背景にした浜、樹林が約23,000本ある、うっそうとした樹林)、自生(ソテツ、ハマナス、ビロウ)、ジャングル(リテツジャングルが近くにある)、緑(山々の緑、豊かな山の緑、豊かな緑の入江)、ミカン(ミカンと松が多い、背後の山裾はミカン畑)、熱帯植物・亜熱帯植物(熱帯植物が生い茂る、亜熱帯植物が豊か、デゴ並木、アダンが繁茂し南国情緒満点、アダンの木の向こうに青い海が広がる、モクマオウ林が豊富、モクマオウの緑とリーフが美しい、モクマオウ・テリハボクなどの緑と白い砂浜の強いコントラスト、モクマオウ・テリハボクなどの緑と白い砂浜の強いコントラスト、アコウ・ビロウ・ハマユウなどが茂る)、種々の樹木(ハマツ・イマツ・春のツツ・秋の紅葉と四季折々の彩が人の目を楽しませる)、寒椿(赤い寒椿の咲く名所)、浜桐(背後の浜桐が美しい)、群落(ヒメスリハ・ヤマモ・ガクツサの群落、ハマナツメの群落が近くに見られる)、密生(椿・赤松の古木が密生しっそうの彩を添える)</p> |
| <p>▲誉め言葉 美しい(御用邸の自然林を背負った美しい砂浜、ウバメガシの林が美しい、モクマオウの緑とリーフが美しい)、風景(ハマユウと防風林の織りなす風景は格別)、情緒(アダンが繁茂し南国情緒満点)、豊富(モクマオウ林が豊富)、彩(ハマツ・イマツ・春のツツ・秋の紅葉と四季折々の彩が人の目を楽しませる、椿・赤松の古木が密生しっそうの彩を添える)、名所(赤い寒椿の咲く名所)</p> <p>▲同時に用いられる要素 砂浜(御用邸の自然林を背負った美しい砂浜、モクマオウ・テリハボクなどの緑と白い砂浜の強いコントラスト、杉林を背景にした浜)、海(山々の緑と紺碧の海との調和が美しい、アダンの木の向こうに青い海が広がる)、ハマユウ(ハマユウと防風林の織りなす風景は格別)、リーフ(モクマオウの緑とリーフが美しい)</p> |
| <p>●「草」・「花」</p> |
| <p>群生(100種を越える植物が群生、ハマユウとビャクシンが群生、ハマナスの群生地、ヤマユウの群落がある)、高層湿原植物の群落、トベラ・ハマギクが密生、コホウムギが大群落で密生)、海岸植物(海岸植物が豊富)、花(花畑で知られる、〇～〇月に花が咲く、花畑を背後に控える、ハバツカスをはじめ熱帯の花木)、熱帯植物・亜熱帯植物(熱帯植物が生い茂る、亜熱帯植物が豊か)、ハマユウ(ハマユウ匂う南国情緒豊かな海岸、ハマユウが一部に自生、ハマユウが500株も群生、ハマユウと防風林の織りなす風景は格別)、ハマナス(ハマナスが咲く砂浜)、スイカ・サツマイモ、グンバイヒルガオ(夏にはグンバイヒルガオが一斉に咲きコバルトブルーの海に映えてひときわ美しい景観になる)、サトウキビ(サトウキビ畑を背景に民宿がたつ)、ハイビスカス、アヤメ(アヤメの群生地)、カンゾウ(カンゾウが6月に咲く)、ハナス・ハマナツメなどの砂地植物、草原(緑の草原、カヤの草原地帯)、ハマユウ(ハマユウが自生)、高山植物(高山植物がみごと)</p> |
| <p>▲誉め言葉 豊富(海岸植物が豊富)、鮮やか(花が鮮やかな彩りを添える)、情緒(ハマユウ匂う南国情緒豊かな海岸、亜熱帯の花木に囲まれた熱帯ムード満点の浜)、風景(ハマユウと防風林の織りなす風景は格別)、美しい(夏にはグンバイヒルガオが一斉に咲き、コバルトブルーの海に映えてひときわ美しい景観)</p> <p>▲同時に用いられる要素 防風林(ハマユウと防風林の織りなす風景は格別)、海(夏にはグンバイヒルガオが一斉に咲き、コバルトブルーの海に映えてひときわ美しい景観になる)</p> |

どと同時に用いられる傾向がある。

b) 松以外の草木についての記述(表-7)

松以外の草木についての記述は、樹木(杉林、モクマオウなど)についての記述と草・花(ハマユウ、植物の群落など)についての記述に分けられる。

樹木についての記述は、樹林、ジャングルなどの樹木の集合としての状態を記述したものや、熱帯・亜熱帯植物、モクマオウ、桐などの樹種について記述したものがある。また、「砂浜」、「海」などの意味的関連の深い要素と同時に用いられることも多い。

草・花についての記述は、群生していることの記述と、草・花の種類についての記述が多い。

(3) 周辺地形型

周辺地形についての記述を、当該海岸から視認できる山、島などの地形についての記述と周辺地形との位置関係など(隣接地形)についての記述の2つに分けて分析を行う。

a) 視認地形についての記述(表-8)

視認地形についての記述は、対象までの定性的な距離によって、遠景(山を望む、沖合に島が浮かぶなど)、

表-8 視認地形についての記述

| | |
|----------------|---|
| <p>●「遠景」</p> | <p>○「山・岬・半島・崎」 望む（崎・岬が望める、好天の日には湾を隔てて半島・山が望める、島を前に遠く山々を望む）、仰ぐ（沖合に山が仰がれる、山を仰ぐ）、眺められる（遠く島・崎を眺められる）、眺望（富士の眺望がすばらしく万葉集以来の歌枕の地として親しまれる、山の眺めがよい）、湾の彼方に連峰の稜線が浮かぶ、古来から船の目印の岬、山の遠望がすばらしい、波濤の向こうに富士山も姿を見せる</p> <p>▲誉め言葉 眺望がよい（山・岬を望んで眺望がよい、鼻からの眺めがよい）、景勝地（半島を望む景勝地、島・岬を沖に望む景勝の地、島・半島を眼前に風光に恵まれている）、絵・歌（古来絵に歌に繰り返し賞賛されてきた、富士の眺望がすばらしく万葉集以来の歌枕の地として親しまれる景勝の地）、有名（半島を前景とした富士の眺めは遠く海外にまで知られた景観）、雄大（半島方面の雄大な眺め）</p> <p>▲同時に用いられる要素 湾（湾の彼方に立山連峰の稜線が浮かぶ）、島（島を前に遠く山々を望む風光のよい海岸、島・岬を沖に望む景勝の地）、松林（松林越しに山が望める）、波（波濤の向こうに富士山も姿を見せる）</p> <p>○「島」 望む（はるか海上には島の姿が望まれる、正面に島を望む、島の影を望める）、沖合には島が浮かぶ（景勝地）、眺望（沖合に小島を眺める景勝地、島を遠望、正面に島が眺望できる、沖合の小島の眺望が楽しめる、島の眺めがすばらしい、○島をはじめとする瀬戸内海の眺望抜群）</p> <p>▲誉め言葉 景勝地（沖合に小島を眺める景勝地、島を前に遠く山々を望む風光のよい海岸、遠く島を望む風光明媚な海岸）、眺めがすばらしい（島の眺めがすばらしい、崎・半島・島・山を望んで景色がよい）</p> <p>▲同時に用いられる要素 岬（島・岬を沖に望む景勝の地）</p> |
| <p>●「中・近景」</p> | <p>○「山・岬・崎・鼻」 洞山などの景勝地がある、豊かな山の緑が紺碧の海に映える、崎・山が海に突き出す、対岸に崎を望み風光明媚、崎・山が海に突き出す、岬や入江が連なる海岸、島・崎を目前に望む</p> <p>▲誉め言葉 景勝地（洞山などの景勝地がある、崎などの景勝地に恵まれる、対岸に崎を望み風光明媚）、映える（豊かな山の緑が紺碧の海に映える）</p> <p>○「島」 浮かぶ（ポツンと浮かぶ島を前にする、眼前に島が浮かぶ、3つの小島が浮かぶ、島と島が指呼の間に浮かぶ、群島が海上に浮かび松島に似た景観）、点在（入江に白い大理石の小島が点在し海の色に映える、島が多数散在、湾内に島が点在する、磯・島陰が点在する景勝地）、眺望（島を眺める海岸、海底に群立した小島を眺める岬、島の眺めがよい）、前方の小島の風景も美しい、島々がつつく</p> <p>▲誉め言葉 美しい（島が浮かぶ前面の景観は美しい）、映える（海の色に映える）、眺めがよい（島の眺めがよい）、景観がよい（島の景観がよい、目前に島を望む景観に恵まれた海水浴場）、みごと（奇岩小島が浮かぶ風景はみごと）、比喩（沖合は島々が浮かぶ大自然の庭園のよう）、景勝地（磯・島陰が点在する景勝地、松島に似た景観）、絵・歌（海上には島が浮かびみごとなその景観は万葉集に詠まれた）</p> <p>▲同時に用いられる要素 海（入江に白い大理石の小島が点在し海の色に映える）、入江（入江と沖に浮かぶ島が変化に富んだ風景をみせている）、松（波食群島が海上に浮かび松島に似た景観、松をいただいた大小の島が点在）</p> <p>○「その他」 人工の流路、西岸には小規模だが千枚田がみえる、多くの湾・岬・小島が複雑に入り組む、湖の眺めがよい、サンゴ礁の美しい海岸、真っ白いサンゴ礁の州が干潮時に現われる、リーフが美しい、潟湖の風情</p> |

| | |
|---|--|
| を十分にとどめる、岩などの景観が眺められる | |
| <p>▲ 誉め言葉 美しい（サンゴ礁の美しい海岸、リーフが美しい）、眺めがよい（湖の眺めがよい）、風情をとどめる（潟湖の風情を十分にとどめる）、景観（岩などの景観が眺められる）</p> | |
| ● 「近～遠景」 | |
| <p>海（太平洋が開ける、洋々とした太平洋が開ける男性的な景観、エメルト・グリーン海、青い海と岩肌のコントラスト、サンゴ礁の青い海、日本海を見晴らす、日本海の眺めがすばらしい、サンゴ礁の海が鮮やかにつづく）、荒涼たる草地と赤土地帯が果てしなく続く、岬から海岸・湾一帯の佳景が一望できる</p> | |
| <p>▲ 誉め言葉 洋々とした（洋々とした太平洋が開ける）、男性的（洋々とした太平洋が開ける男性的な景観）、佳景（岬から海岸・湾一帯の佳景が一望できる）、映える（豊かな山の緑が紺碧の海に映える）、すばらしい（紺碧の海の風景はすばらしい、日本海の眺めがすばらしい）、美しい（紺碧の海が美しい）、鮮やか（サンゴ礁の海が鮮やかにつづく）</p> | |
| <p>▲ 同時に用いられる要素 山（豊かな山の緑が紺碧の海に映える）、岩肌（青い海と岩肌のコントラスト）</p> | |

中・近景（岬を眼前に望む、小島が点在するなど）、近～遠景（面的な広がりなど）についての記述に分けられる。

遠景、中・近景とも山、岬、島などの眺めや視認できるという事実についての記述が多い。

近～遠景では、海についての記述が大部分である。広い海（洋々とした太平洋など）や海の色（青い海など）についての記述が多い。

b) 隣接地形についての記述（表-9）

当該海岸の位置についての記述には、岬、川、山など視覚的に目印になるような地形との関係で記述されることが多い。位置関係の表現は方角（〇〇山の東など）、距離（丘陵が迫るなど）、起終点（岬から鼻に至る海岸）などがある。

(4) 奇勝型（表-10）

奇勝についての記述は、奇岩、巨岩などの岩についての記述や断崖、絶壁、海食棚などの地形的な記述などが多い。これらのほとんどが、波食によって創り出された景観であるという特徴を持つ。また誉め言葉として、美しさについての記述以外に、荒波を連想させる豪快さ（豪快な荒磯風景、雄壮怪奇な岩岸・洞窟など）や男性らしさ（ゴツゴツした岩礁がつづく男性的な海岸など）についての記述や、変化に着目（岩礁が多く変化に富むなど）した記述が多い。

(5) その他

汀線型、植生型、周辺地形型、奇勝型以外のものについては、人工物に関わる記述と、自然物に関わる記述の2つのタイプについて分析した。

a) 人工物についての記述（表-11）

人工物では、灯台、港、桟橋などの海や港に関連のあるもの、島と陸を結ぶ橋、神社、寺、集落、ホテルなどについての記述がある。

b) 自然物についての記述（表-12）

自然物では、波、日の出・日の入、鳥などの季節や時間などによって移り変わる景観現象についての記述がある。誉め言葉として波には荒々しさ、日の出・日の入りには美しさが結びつき強調される傾向にある。

4.3 考察

海岸景観の認識とその記述方法については二つの方向性が見い出される。一つは固定化した自然観に規定される側面、もう一つはそうした自然観との差異化を求める側面である。

海岸空間に対する人々の見方には、白砂青松、長汀曲浦などのように、日本古来の海岸に対するイメージを下地とする比較的固定化した枠組みが認められる。人の海岸空間の記述表現は、それら固定化した枠組みにまるで約束事であるかのように影響を受けて成立している。この画一化されたともいえるような認識は、観光案内書などの記述媒体を通して、情報受容者（読み手や景観を体験する者）に投影されることにより、今後、記述内容が精緻にわたり、しかも提供される機会が増えれば増える程、記述内容がいわば当たり前の約束事ようになって、海岸空間のイメージの固定化が進むものと予想される。

一般的な記述表現を超えて、場所固有の特徴を抽出、すなわち他の海岸との差異化を図ろうとする記述が認められる。一般的な記述の枠組みは、土地の形、地形の規

表-9 隣接地形についての記述

| | |
|----------|---|
| ●「岬・崎・鼻」 | <p>岬の○側の海岸、岬の○につづく、○から岬に至る間、岬の崖下、岬と岬の間、岬と港の間の浜、左右を岬に囲まれる、岬が近くにある、小さな岬にはさまれる、岬に抱かれる、崎の○側に開ける、崎をまわりこむ、崎の○側に連なる、○から崎に至る海岸一帯、崎まで弧を描く、崎から○にかけて湾入、岬が突き出る、崎が浜を包むように突き出る、崎に囲まれた入江、崎と鼻でつくられた入江、崎のつけ根にあたる、鼻と○にはさまれた湾、鼻（崎）にさえぎられる、鼻の○側○km、鼻から鼻の海岸、鼻の○側に続く、鼻を過ぎ崎に至る一帯</p> |
| | <p>▲誉め言葉 有名（岬は景観のすぐれたところとして有名） ▲同時に用いられる要素 湾（湾に突き出した岬）</p> |
| ●「川」 | <p>河口の○側に続く、河口にある、河口付近、河口○側を占める、河口一帯、川と川にはさまれた海浜地域、川の砂州をはさんで分かれる、川を境に2つの海水浴場がある、河口から○に開ける、河口につづく、河口までつづく、河口から○までの海岸、河口から○に至る海岸</p> |
| ●「山」 | <p>小高い山に湾曲した砂浜が延びる、山の○側にある、山まで続く、山の○に延びる、○には小高い山がある、山を中心にする、山と山の間延びる、山を越えたところに広がる、山の麓に続く、○から山麓までの海岸、東麓の入江、山を背景にする、背後の山、岳の麓を背景にする、浜に迫る背後の山、背後に岳の麓がひろがる、山を（背）負う、山が海に迫る、山が海中に落ち込む、山の端が海に落ち込むところ、山裾にある、山裾が海に没するあたりをいう</p> <p>▲誉め言葉 比較（背後に控える山は福井市で一番高い山）</p> |
| ●「段丘・丘陵」 | <p>緑の芝におおわれた低い段丘が連続、背後に丘陵が迫る、丘陵を隔てた○側の海岸、丘陵地を背にする、丘陵を背景に海に面した一帯、○には小丘がある、丘陵の真下にある神社にある浜、海岸段丘が囲む台地状の島、後方の台地、丘陵が海に迫る、段々畑が続く、ゆるやかな丘陵地一帯</p> |
| ●「浦」 | <p>浦にある、浦につづく、浦に隣接、右は浦がつづく</p> |
| ●「その他」 | <p>砂丘の内側は湿原、湾の○にある、半島に抱かれる、水道に面する、内海、半島と半島の間、砂州に抱かれた内海、湾に面する、湾に延びる、湾を中心に分けられる、湾沿いに弧を描く、○から湾に至る海岸線、鼻と島にはさまれた小湾、半島に囲まれる、5つの島々からなる、瀬戸に面する、海峡に面する、島の北、島に隣接、島の対岸、島付近から○にかけて、サンゴ礁につつまれた浜、サンゴ礁に囲まれた島、沖をリーフに囲まれた美しい海岸、海峡の入り口にある、リーフが囲む海に面する</p> <p>▲誉め言葉 美しい（沖をリーフに囲まれた美しい海岸）</p> |

表-10 奇勝についての記述

| | |
|--|--|
| <p>●「奇岩・巨岩（岩系統）」</p> | <p>奇岩（〇kmにわたり奇岩怪礁が連なる、奇岩が続く、奇岩がそそり立つ、奇岩の海岸風景を楽しめる、サンゴ礁の奇岩に富む立体的海岸美、青白色の奇岩が群立するさまはまさに地の果ての極楽浄土、奇岩・奇石が人間を拒む）、岩礁（岩礁が点々とする、数多くの岩礁が磯部に浮かび天然の湾を構える、岩礁は多いが女性的な穏やかな海岸、岩礁が荒波をささぎる、岩礁を望む景勝地、岩礁が奇観を呈する、松と岩礁が調和する、ゴツゴツした岩礁がつづく男性的な海岸、荒波が岩礁に散る男性的な海岸、男性的な岩礁と荒波の取り合わせて絵や写真の被写体には選ばれる景勝地）、巨岩（巨岩が屹立、奇怪な形の巨岩が数多い、巨岩が点在する、巨大な立岩がある景勝地）、岩（縞模様を描く岩が露出、岩石が波に洗われて男性的な風景を展開、岩石美が満喫できる、所々に岩脈を露呈、紺碧の海に白亜の岩が映え美しい）、磯の奇勝、板状節理が見られる、岩床が広がる、変化に富む磯、みどころは干潮時に露出する洗濯板状の玄武岩が奇景をみせる千疊敷、鬼の洗濯板のような奇観がある</p> |
| <p>▲誉め言葉</p> <p>美しい（岩石美が満喫できる、サンゴ礁の奇岩に富む立体的海岸美、奇岩が点在し美しい風景）、景勝（奇岩・断崖の美しい姿を海に映す〇随一の景勝、岩礁を望む景勝地、〇と岩礁の景勝が連なる、巨大な立岩がある景勝地）、みどころ（奇岩・石・滝などのみどころがある、みどころは干潮時に露出する洗濯板状の玄武岩が奇景をみせる千疊敷）、景観（断崖・岩礁が連続し〇周辺自然景観の一つ、岩礁群の景観がよい）、風光がよい（海食奇岩が見られる風光のよい海岸）、変化に富む（岩礁が多く変化に富む）、有名（観光名所鬼ヶ城のすぐ近く、有名な岩が海に浮かぶ、道内八景の一つ）、比喩（断崖・洞門・奇岩が点在し山陰松島と呼ばれる、青白色の奇岩が群立するさまはまさに地の果ての極楽浄土）、みごと（奇岩小島が浮かぶ姿はみごと、周辺の断崖や奇岩がみごと）、映える（紺碧の海に白亜の岩が映え美しい）、壮観（断崖上から浦・岩礁などダイマックで明るい海岸景観をほしいままにする、小島・岩礁が散在しスケールの大きな景観を繰り広げる）、豪快（奇岩怪石の豪快な海岸線、しぶきが霧のようにまあって豪快な荒磯風景）、男性的（ゴツゴツした岩礁がつづく男性的な海岸、荒波が岩礁に散る男性的な海岸、男性的な岩礁と荒波の取り合わせて絵や写真の被写体には選ばれる景勝地）、造形美（〇・岩礁が絶妙の造形美を見せる〇の代表的景勝地）、絵・歌（男性的な岩礁と荒波の取り合わせて絵や写真の被写体には選ばれる景勝地）</p> <p>▲同時に用いられる要素</p> <p>松（頂に赤松をのせた純白の岩塊、松と岩礁が調和する）、海（岩塊が鋸の歯のように一列に並んで小半島をつくり群青の海にその姿を映す、紺碧の海に白亜の岩が映え美しい）、断崖（奇岩・断崖の美しい姿を海に映す〇随一の景勝、断崖・岩礁が連続し〇周辺自然景観の一つ）</p> | |
| <p>●「絶壁・断崖」</p> | <p>奇岩・断崖の美しい姿を海に映す〇随一の景勝、岬を頂点とする絶壁群が広がる、断崖は材木状の柱状節理を露出する、切り立った断崖が続く景色がよい、屈曲した波の彫刻による崖がつづく美しい海岸、浜は断崖で仕切られる、赤褐色の絶壁、海食崖が発達した岩石海岸、断崖がつづく、〇kmにわたり豪壮な断崖と〇が連なる、断崖・〇など奇勝に富む、断崖の連なりで趣も険しい、絶壁が弧を描いてそそり立つ、断崖が幾重にも壁をつくる、断崖絶壁が織りなす海岸美は秘境ムトあふれる、断崖や岬の奇景となり男性的で豪壮な景観、屏風のようにそそり立つ断崖、断崖・鼻・淵などの豪快な海岸風景がつづく、海食崖がワニの姿に似ている、断崖をなして男性的、雄壮怪奇な岩崖・洞窟が連なり景勝の地、黒々とした断崖が波に洗われる、波浪高い男性的海食崖、断崖が海岸に迫る風景は壮観、切り立った断崖が続く</p> |
| <p>▲誉め言葉</p> | <p>景勝（奇岩・断崖の美しい姿を海に映す〇随一の景勝、背後には断崖が続く景勝地、海食断崖と〇の景勝が連なる）、風光がよい（岬の断崖を望む風光のよい海水浴場、切り立った断崖が続く景色がよい）、比喩（屈曲した波の彫刻による崖がつづく美しい海岸、断崖・洞門・奇岩が点在し山陰松島と呼ばれる、海食崖がワニの姿に似ている）、壮観（対岸に断崖を望み壮観、断崖がつづくダイマックな海岸線を見せる代表的景勝地、断崖が海岸に迫る風景は壮観、〇kmにわたり豪壮な断崖と〇が連なる、絶壁をつくり伊豆東海岸でもっとも豪壮な海洋風景）、みごと（周辺の断崖や奇岩がみごと）、景観に富む（断崖・〇など景観に富む、断崖・〇など奇勝に富む）、美しい（断崖絶壁が織りなす海岸美、断崖美が連続する、豪快な海食崖を連ねみごとな海岸美）、秘境ムト（断崖絶壁が織りなす海岸美は秘境ムトあふれる）、魅力（断崖絶壁がつくりだす海岸の景観は魅力）、雄壮怪奇（雄壮怪奇な岩崖・洞窟が連なり景勝の地）、珍しい（黒い岩肌が〇kmにもわたり珍しい景観を展開）</p> |

| | |
|---------------------------------------|--|
| ▲同時に用いられる要素 洞窟（雄壮怪奇な岩崖・洞窟が連なり景勝の地） | |
| ●「海食棚」 | 岩だたみ、海食崖を背後にした広い岩盤、海食台地、海岸段丘、千畳敷と呼ばれる隆起海床があり豪壮な風景、段丘がつづく、幅の広い海壇が連なる、黒々した岩原、万畳石と呼ばれる海岸美 |
| ▲誉め言葉 | 景観を誇る（景観を誇る広大な岩場）、豪壮（千畳敷と呼ばれる隆起海床があり豪壮な風景、〇kmにわたり豪壮な〇と海食棚が連なる）、美しい（万畳石と呼ばれる海岸美） |
| ●「洞窟」 | 大きく口を開ける洞窟、鼻・洞門などの奇勝、大洞門が随所にあり眺めは圧巻、洞門が国道からよく眺められる、奇岩・洞門の衾が連続、風食洞などがつづく、雄壮怪奇な岩崖・洞窟が連なり景勝の地 |
| ▲誉め言葉 | 圧巻（大洞門が随所にあり眺めは圧巻）、比喻（山陰松島と呼ばれる、浄土ヶ浜と対照的）、みどころ（〇・洞などのみどころもある）、雄壮怪奇（雄壮怪奇な岩崖・洞窟が連なり景勝の地） |
| ●「島」 | 柱状節理を見せる島々の眺めもすばらしい、点在する小島が赤褐色の不気味な岩肌を見せる |
| ▲誉め言葉 | 眺めがすばらしい（柱状節理を見せる島々の眺めもすばらしい） |
| ●「その他の具体的なもの」 | 奇岩・石・滝などのみどころがある、奇勝〇鼻の眺めもよい、干潮時のみあらわれる純白の砂浜、滝などの景観もある、トドワラは荒涼とした奇観、直接海に落ちる滝 |
| ▲誉め言葉 | 景勝（奇岩・断崖の美しい姿を海に映す〇随一の景勝、滝などの景観もある、峡谷や崎などの景勝がつづく）、眺めがよい（奇勝〇鼻の眺めもよい）、景観に富む（〇・滝など景観に富む） |
| ●「その他の抽象的なもの」 | 奇勝、周辺には景勝海食海岸がある、荒波に浸食された荒々しい海岸美、朝鮮半島の海金剛に勝とも劣らない男性的な海岸美、海食海岸である |
| ▲誉め言葉 | 景勝（周辺には景勝海食海岸がある）、美しい（荒波に浸食された荒々しい海岸美）、比喻（朝鮮半島の海金剛に勝とも劣らない男性的な海岸美） |

表-11 その他の人工物についての記述

| | |
|-------------|---|
| ●「灯台」 | <p>小さな灯台がある、灯台が立つ、灯台が立つ展望台は海が180°開ける景勝地、灯台の〇に広がる砂浜岬に灯台が立つ、白亜の灯台と紺碧の海の風景は素晴らしい、白亜の灯台</p> <hr/> <p>▲誉め言葉 景勝地（灯台が立つ展望台は海が180°開ける景勝地）、風景が素晴らしい（白亜の灯台と紺碧の海の風景は素晴らしい）</p> <p>▲同時に用いられる要素 海（白亜の灯台と紺碧の海の風景は素晴らしい）</p> |
| ●「橋」 | <p>絶壁にかかる海の吊り橋、吊り橋がある、朱塗りの橋が架けられ海の青と調和して美しい、シーズン中には岩と海辺を結んで橋が架けられる、橋が島につながる、橋で本島と結ばれた島</p> <hr/> <p>▲誉め言葉 美しい（朱塗りの橋が架けられ海の青と調和して美しい）</p> <p>▲同時に用いられる要素 海（朱塗りの橋が架けられ海の青と調和して美しい）</p> |
| ●「港」、「栈橋」 | <p>〇や港を望んで風景もよい、港がある、漁港がある、港を中心とした浜、港〇よりの海岸、港から〇までの海岸、内側に港を抱く、港内の海水浴場、ヨットハーバーがある、マリナがある、グラスボート栈橋</p> <hr/> <p>▲誉め言葉 風景がよい（〇や港を望んで風景もよい）</p> |
| ●「神社」、「寺」など | <p>老松の間に天満宮がある、〇に八幡宮がある、神社・城跡がある、神社がある、神社につづく浜、外海に面して神社が立つ、移情閣、神社の〇に開ける、海岸の〇には寺の赤い堂が立つ、御堂が立つ、栈橋付近に地藏堂、湖中に浮かぶ大鳥居は島のシンボルである、あたりの景観に調和して朱塗りの六角堂が立つ</p> |
| ●「その他」 | <p>水族館がある、隣接して夕べがある、海中展望塔を望む、集落の〇に広がる砂浜、漁船が入りし素朴な漁村風景、漁村のたたずまいをみせる、汀に情緒豊かな舟小屋がある、赤・青・黄に染められた歩道、高層な大旅館が立ち並ぶ地区を控える、ホテルが立つ、白い貝殻をモチーフにした9階の美しいビルが立つ、立派な旅館やビルが立ち並ぶ、浜茶屋が並ぶ、浜辺に沿って民宿が並ぶ、運河の〇側、市街の〇をふちどる、砂堤が〇にわたり残る、防風石垣などが点在する、クリ船が南国の情緒を添える、海上IC、土地造成を行っている、間垣が見られる、間垣をめぐるした民家が点在、石灰石の採掘跡、朝夕には出船・入船が行き交いのどかな雰囲気、高さ226mの世界一の送電塔がある</p> <hr/> <p>▲誉め言葉 美しい（白い貝殻をモチーフにした9階の美しいビルが立つ）、情緒（クリ船が南国の情緒を添える、漁船が入りし素朴な漁村風景、朝夕には出船・入船が行き交いのどかな雰囲気）</p> |

表-12 その他の自然物についての記述

| | |
|-------------------|---|
| ●「波」 | <p>片寄せ波で有名、波も比較的穏やか、おだやかな海面を前にする、波静かな女性的な海岸、波静かな浜辺、波が荒い、砂浜を白波と松林が彩る、ドウトウと白波が打ち寄せる、岩に砕け散る波の白さ・豪快さが魅力、太平洋の波濤が荒々しく打ち寄せる、湾口からの波が横ざまに波紋を広げていく（横浪三里）、太平洋の白波がみごと、岩礁に荒波が砕ける様は壮観、碁盤の目状の波ができる、激浪によるしぶきが霧のように舞う豪快な荒磯風景、西風の日には波しぶきがすさまじい、冬は波の花が見られる、サンゴ礁に白く砕ける波は男性的な景観</p> <p>▲ 誉め言葉 彩る（砂浜を白波と松林が彩る）、魅力（岩に砕け散る波の白さ・豪快さが魅力）、女性的（波静かな女性的な海岸）、壮観（岩礁に荒波が砕ける様は壮観）、豪快（激浪によるしぶきが霧のように舞う豪快な荒磯風景）、男性的（サンゴ礁に白く砕ける波は男性的な景観）</p> <p>▲ 同時に用いられる要素 砂浜（砂浜を白波と松林が彩る）、岩（岩に砕け散る波の白さ・豪快さが魅力）</p> |
| ●「日の出、日の入り、光線の具合」 | <p>日の出が美しい、夕日の美しさで知られる、海に没する落日の眺めもすばらしい、夕日が美しい、東シナ海に沈む夕日は絶景、落日の光景はすばらしい、落日も美しい、夕日に砂浜の鳥居と夫婦岩が映える</p> <p>▲ 誉め言葉 美しい（日の出が美しい、海に没する落日の眺めもすばらしい、東シナ海に沈む夕日は絶景、落日のすばらしい海岸）、有名（落日の景の名所）、映える（夕日に砂浜の鳥居と夫婦岩が映える）</p> <p>▲ 同時に用いられる要素 鳥居と岩（夕日に砂浜の鳥居と夫婦岩が映える）</p> |
| ●「鳥」 | <p>遊覧船の頭上には無数の海鳥が飛び交い壮観、青い海と海鳥の空中乱舞する景観がみごと、10月ごろ多数の白鳥が飛来し美しい光景を見せる</p> <p>▲ 誉め言葉 壮観（遊覧船の頭上には無数の海鳥が飛び交い壮観）、みごと（青い海と海鳥の空中乱舞する景観がみごと）、美しい（10月ごろ多数の白鳥が飛来し美しい光景を見せる）</p> |

模、景観構成要素の色彩、植生などの状態、視空間の広がり、異質な要素、などに着目することであるが、場所のアイデンティティを強調するために、たとえば、波の状態、砂の粒の大きさ、光線の状態、植物の疎密や生える位置など、細やかな特徴が丹念に探求される。この差異化の視点は、海岸における景観体験を分析する上で有効な切り口となる。

5. 景観現象と記述表現の対応関係の分析（汀線の平面形状と記述表現との対応）

5.1 汀線の平面形状の測定

4.で抽出した海岸事例のうち汀線を円弧に近似できるもの371事例について、曲率半径および中心角を測定し、両者より汀線長を併せて算出した。

汀線長については、延長120m位から70kmを越える

事例までさまざまであるが、3,000m以下の事例で全体の約8割（288/371→78%）を占める。特に1,000m以下の事例が約半数（182/371→49%）を占めており、規模的に人工海浜の整備に参考となる事例も多いことがわかる（図-5参照）。

また、曲率半径（大きくなるほどなだらかになる）については、小さいほうに片寄っており、3,000m以下の事例で全体の約8割（285/371→77%）を占めている（図-6）。

次に中心角については、10°以下から210°を越える事例までさまざまであるが、その多くは10°～110°に集中（317/371→85%）していることがわかる（図-7参照）。

5.2 景観現象と記述表現の対応関係の把握

汀線形状についての記述がある海岸事例のうち汀線を円弧に近似できるものと、汀線形状についての記述がな

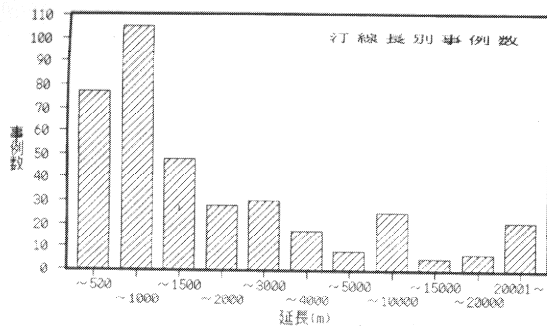


図-5 汀線長別事例数

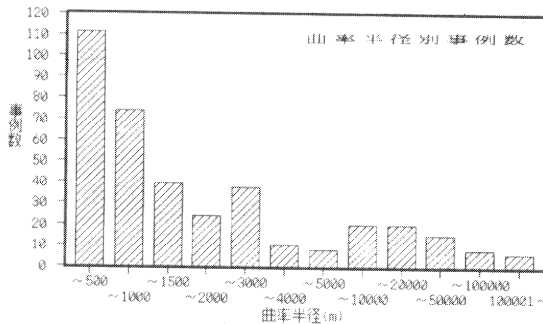


図-6 曲率半径別事例数

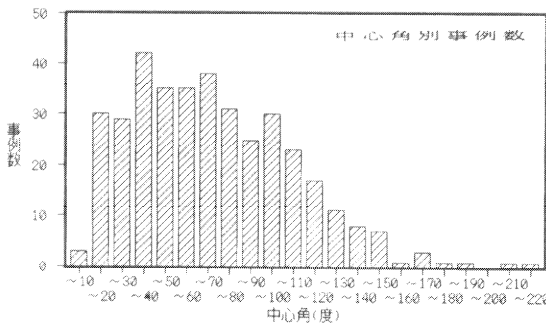


図-7 中心角別事例数

いその他の海岸で汀線を円弧に近似できるものの両者の間でどのような相違があるのかについて分析する。

図-8に汀線についての記述がある海岸とその他の海岸の形状の測定結果の分布を示す。

その結果、汀線についての記述がある海岸は汀線長、曲率半径、中心角のいずれにおいても他の海岸の分布と似通った分布であることがわかり有意な差は見いだされなかった。すなわち、本研究からは、印象に残る一定の汀線形状は存在しないということになる。

これは、汀線形状について記述される海岸とその他の海岸の汀線形状は平面形状的には同様であるが、何か他の要因で記述の有無が決定されていることを示す。

この点については今後の研究課題となるが、記述表現に際して、汀線形状についてよりも優先して記述しておきたい事項が存在することや主要な視点場からの見え方の関与の可能性などがあることを暗示している。

6. おわりに

本研究では、海岸景観の印象を規定する要因を①汀線型、②植生型、③周辺地形型、④奇勝型、⑤その他、の5つのタイプに大別して整理することができた。これにより、海岸における景観の構成要素は、汀線およびその近辺の要素だけではなく、周辺の山や岬、背後の松原、岩礁なども重要な要素になっていることが分かった。このことは景観に配慮した人工海浜や海岸構造物を整備する際に、それらの形態だけにとらわれることなく、主要な周辺の視点場からの汀線の見え方や、周辺の島や岬などとの関係なども考慮に入れる必要があることを示唆している。また、それぞれの記述表現の分析より、海岸景観の認識の枠組み、直接的、暗示的、象徴的な表現上の仕分けの存在、他の言葉との同時使用による表現上の工夫、などが確認できた。これらの分析結果は、整備テーマの選定やPRなどの情報面での操作に際し参考になるものと考えられる。

本研究では、海岸景観の記述表現に着目して分析を行ったが、景観構造を明らかにするためには、景観現象との精緻な対応関係の分析も必要である。一部、汀線の平面形状との対応関係の分析を試みたが、今後、分析の方法も含めて検討を深めていく必要がある。

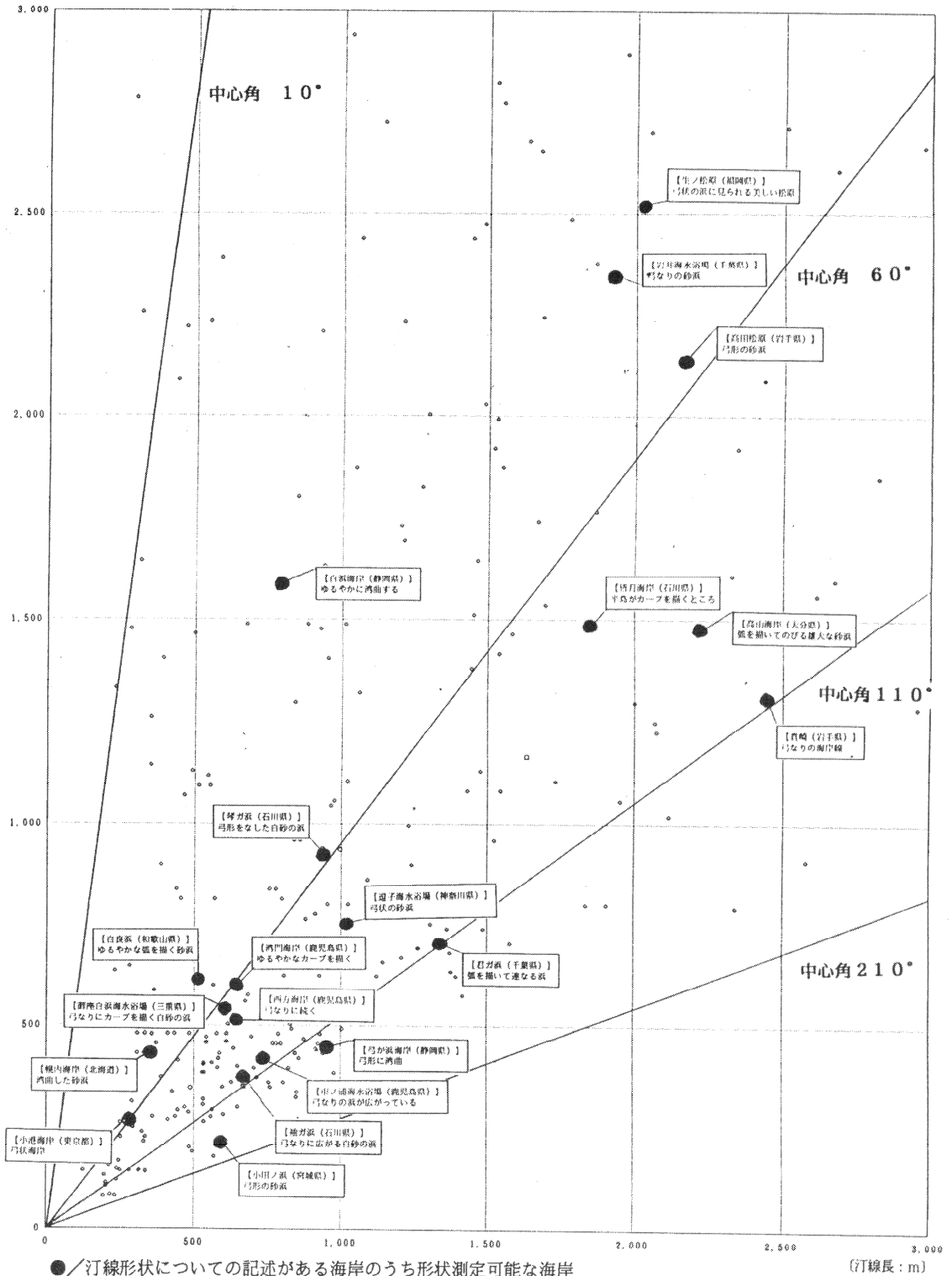
今後実施される人工海浜をはじめとする海岸空間の整備に際して、本研究の成果が少しでも参考になれば幸いである。

(原稿受理 1995年6月28日)

参考文献

- 1) 上島顕司・加藤寛・斎藤潮：港の景観構成に関する研究、港湾技術研究所報告第29巻第3号、1990.9、pp.95-118
- 2) 後藤春彦・毛利隆子：歌にあらわれる海のイメージの変容－日本人の海の原風景に関する基礎的研究－、日本都市計画学会学術研究論文集1994
- 3) JTBの新日本ガイド（全23巻の内第4、8、11、15、16巻を除く全て）、JTB日本交通公社出版事業局
- 4) 小林享：移ろいの風景論－五感・ことば・天気－、鹿島出版会、1993

(曲率半径 : m)



- / 汀線形状についての記述がある海岸のうち形状測定可能な海岸
(本グラフの範囲中に全数36事例中20事例含有)
- / その他の形状測定可能な海岸
(本グラフの範囲中に全数318事例中239事例含有)

図-8 汀線長-曲率半径グラフ (3,000m * 3,000mの範囲)

港湾技研資料 No.809

1995・9

編集兼発行人 運輸省港湾技術研究所

発行所 運輸省港湾技術研究所
横須賀市長瀬3丁目1番1号

印刷所 (有)つばさ印刷技研

Published by the Port and Harbour Research
Institute, Nagase, Yokosuka, Japan.

Copyright © (1995) by P.H.R.I

All rights reserved. No part of this book may be reproduced by any means, nor transmitted into a machine language without the written permission of the Director General of P.H.R.I.

この資料は、港湾技術研究所長の承認を得て刊行したものである。したがって、本資料の全部又は一部の転載、複写は、港湾技術研究所長の文書による承認を得ずしてこれを行ってはならない。